

授業科目	整形外科学 腫瘍 (講義・演習・実習) (整形外科専門医) (臨床専門医コース)		
取得する専門医の名称	日本整形外科学会専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	癌治療学、臨床腫瘍学、関節外科
年次・期別	1年次－2年次	曜日・時限	月曜日～金曜日、8時から19時
教室	整形外科研究室、病棟、外来	担当者電話番号	086-235-7273 (尾崎敏文)
担当教員	【研究科】教授：尾崎敏文， 【病院】准教授：国定俊之、助教：森本裕樹		
一般目標	整形外科専門医を取得することが大前提である。その上で、整形外科における骨軟部腫瘍専門医として、骨軟部腫瘍の診断、治療についての専門的な知識の取得を目標とする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 骨軟部腫瘍の診断において必要な検査を行い、適切な治療法を選択できる。 悪性骨軟部腫瘍においては、悪性骨腫瘍・悪性軟部腫瘍取扱い規約を理解し、化学療法、放射線治療、外科的手術の標準的な知識を習得する。 骨軟部腫瘍の分子生物学的なメカニズムに関して基礎研究を行い、専門分野の国際誌に掲載される。 		
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 骨軟部腫瘍学講義 (尾崎, 国定, 森本) 整形外科の骨軟部腫瘍学について、臨床的、病理学的、分子生物学的な知識について学習する。 外来実習 (尾崎, 国定, 森本) 実際の外来に参加し、初診で患者さんを診察してから行っていく検査 (画像診断など、診断までのフローチャート) について学習する。特に、骨腫瘍では単純X線の読影が重要であり、実際の症例をみながら学習する。外来のみの症例に関しては、外来でミニ症例検討会の形式で講義を行う。 症例検討会 (演習) (尾崎, 国定, 森本) 毎週火・木曜日朝のカンファレンスに出席する。このカンファレンスでは、骨軟部腫瘍症例だけでなく、関節外科症例、脊椎外科症例、外傷症例など、整形外科で治療するすべての症例を検討する。骨軟部腫瘍の治療、特に外科的治療においては、それらすべての知識を必要であり、外科的治療の基本を学習する。 病棟実習 (尾崎, 国定, 森本) 悪性骨軟部腫瘍では、術前、術後に化学療法を行うことが多く、指導医のもとで化学療法を行い、各腫瘍での標準的な治療法、副作用への対応、患者とその家族への対応などの、実際の臨床的な経験を積む。 基礎研究 (尾崎, 国定, 森本) 骨軟部腫瘍では、他の多くの癌と同様に、幅広く基礎研究が行われている。岡山大学では、20年以上前から骨軟部腫瘍の凍結保存を管理しており、これらのサンプルを使用した分子生物学的な研究を行い、国際誌への掲載を目標とする。 学会参加 日本整形外科学会総会では、骨軟部腫瘍だけでなく他の整形外科分野に関しても幅広く学習する。骨軟部腫瘍学術集会には発表者として参加し、学会発表のノウハウを学ぶ。基礎学術集会では最新の知識を学び、基礎研究に反映するとともに、研究発表も積極的に行う。 		
テキスト・参考書等	WHO Classification. Tumors of Soft Tissue and Bone. Fletcher DM, Unni KK, Mertens F. IARC 2000 Orthopaedic Knowledge Update Musculoskeletal Tumors Schwartz HS AAOS,		
成績評価基準 成績評価方法	臨床活動、基礎研究、さらに学会発表や英語論文などで総合的に判断する。		
研究活動との 関連	整形外科学教室のメインとなる研究テーマである。		

基礎実習	骨軟部肉腫に関連した分子生物学的な基礎研究を行なう。
臨床実習	臨床実習は、最初の10症例まではアシスタント、その後はクリニカルクラークシップにより全てのステップを20症例以上実習する。
症例検討会	毎週火曜日、木曜日に行なう。
講義日程	毎月第3木曜日、午後7時から行なう。
本年度参加が望ましい学会等	日本整形外科学会・骨軟部腫瘍学術集会 日本整形外科・基礎学術集会